



FY2016 Consolidated Business Results

2017年3月期 決算説明資料

AWS AWS Holdings, Inc.

1. 2017年3月期 決算概要

2. 2017年3月期トピックス

3. 成長戦略に関する進捗及び今後のビジョン

1. 2017年3月期 決算概要

◆ 営業利益および経常利益が過去最高益を更新

売上高

2,992百万円

(前年同期比102.2%)

経常
利益

289百万円

(前年同期比124.2%)

経常
利益率

9.7%

(前年同期実績8.0%)

当期
純利益

88百万円

(前年同期 △4百万円)

【主な経営トピックス】

- ・2016年6月21日 東証マザーズ上場
- ・2016年10月1日 1対2の株式分割を実施

- ◆ 既存事業が堅調に推移、経常利益が過去最高益を更新
- ◆ 子会社エーアイエスの再構築を実施、次年度以降高収益モデル確立

	2016年3月期		2017年3月期		6月21日 公表 予想値比
	金額	売上比率	金額	売上比率	
売上高	2,926	100.0%	2,992	100.0%	87.1%
営業利益	193	6.6%	237	7.9%	87.5%
経常利益	232	8.0%	289	9.7%	106.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	-4	-	88	3.0%	52.9%

(単位:百万円)

◆ 2017年3月期において、67百万円の事業構造改革費用を計上

- 「利益重視」「成長重視」を基本方針として、2018年3月期開始にあたり、メディカル事業を行う連結子会社エーアイエスにおいて、ホールディングス主導で組織の再構築を実施。
- すべてのソフトウェア資産の見直しを実施、売上見込の蓋然性は認められないと判断されたソフトウェアにつき、特別損失として全額償却。
- 将来の利益をより確実なものとするべく、今期以降、更なる高収益をつくるべく実施を行ったもの。

◆ 自己資本比率49.2% 流動性と強固な財務基盤を確立

	2016年3月期	2017年3月期	前期末増減額
流動資産	1,477	1,844	367
(現預金)	827	1,079	251
固定資産	439	360	△79
総資産	1,916	2,205	288
負債	1,187	1,119	△67
(有利子負債)	255	182	△72
純資産	729	1,085	355
自己資本比率	38.1%	49.2%	11.1%

(単位:百万円)

- ◆ 前年度に引き続き営業利益・経常利益ともに過去最高益を計画
- ◆ AIソリューションおよび医療ビッグデータに係る本格的な受注開始
- ◆ フィリピンにおける開発センターの大幅拡張および新マイティーチェッカーに関する戦略的な投資を吸収した上で大幅な増益を確保

	2017年3月期		2018年3月期		増加率
	金額	売上比率	金額	売上比率	
売上高	2,992	100.0%	3,527	100.0%	17.9%
営業利益	237	7.9%	356	10.1%	50.2%
経常利益	289	9.7%	351	10.0%	21.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	88	3.0%	214	6.1%	142.4%

(単位:百万円)

※想定為替レートを保守的に0.40に設定

2. 2017年3月期トピックス

米国拠点開設

- ◆ 自動車産業や製造業におけるIoT分野、ヘルスケアにおける戦略的なソリューション拡大に向け米国拠点開設。



- ◆ すでに開始しているドローンを活用した地図測量企業および医療関連会社との取引も順調に増加。



AI事業 本格開始

- ◆ 大手メーカーにおける次世代型券売機および大手PCメーカー向け音声AIクラウドプラットフォームの開発受注。



既存重要顧客

- ◆ 既存重要顧客の受注は堅調に継続拡大。既に取り引のある大手顧客においては、「データ分析」に関する開発需要も増加。

国際ICTアワード二年連続受賞

- ◆ トップノッチ人材の採用・育成が加速。フィリピンにおけるNo.1ソフトウェアカンパニー二冠の偉業を達成（国際ICTアワード）。



※ 国際ICTアワードは、フィリピンにおけるIT及びビジネスプロセスマネジメントの推進を支援する業界団体IBPAPおよび在比カナダ商工会議所の支援によって運営され、当アワードはIT業界において最も権威ある賞の1つとして位置付けされております。

エンタープライズ事業

- ◆ グローバルカンパニーIBM社のコアパートナーとして、大手金融機関以外の新規市場の案件受注。
- ◆ 1,900㎡規模の新規開発センター（含「教育センター」）のオペレーション開始。2020年2,000名体制へ向けた投資実行。

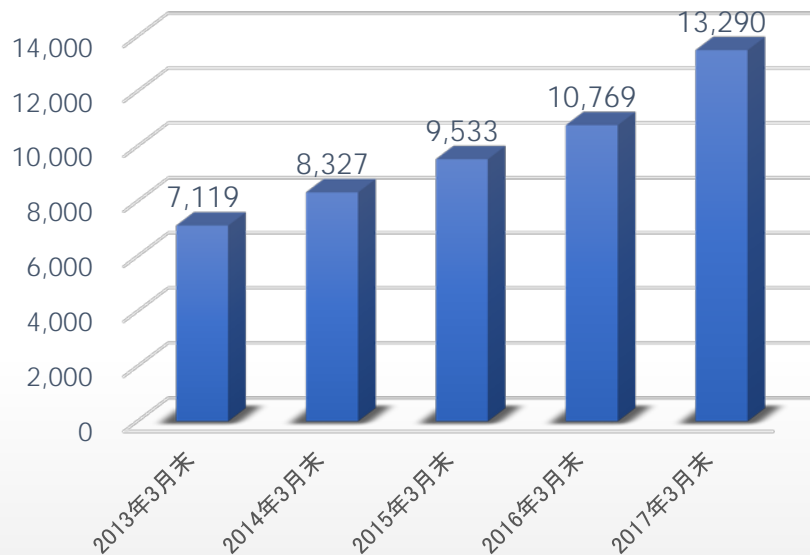
エコシステムパートナー契約

- ◆ ソフトバンクとIBM Watsonエコシステムパートナー契約を締結。IBM Watsonを活用した新ソリューション・サービスの提供。

Mightyシリーズ

- ◆ Mightyシリーズユーザー数は3月末時点で13,290医療機関に急増。

Mightyシリーズ導入医療機関数推移



2017年3月末前期比伸び率

23.4%

医療ビッグデータ分析市場

- ◆ コア技術及び医療データが取り扱える有利なポジションを活かし、医療ビッグデータ分析市場へ本格展開。



エンジニアのグループ共有

- ◆ 子会社エーアイエスにて医療システム開発にフィリピン人材を投入開始、ローコストな開発体制による更なる収益率アップへ布石。



3. 成長戦略に関する進捗及び今後のビジョン

Our Vision: **Top** Global Technology Company

Continuous Global Presence Expansion: Japan + Global Market (**US** + CHINA + ASEAN)



次世代型ソリューション

- Automation
- Analytics
- A.I. (Cognitive Computing)

2,000人規模のリソース
実現に向けて (2020年)

Target Industries: Continuous Innovation in Software Dev't Services

自動車



テストサービス + 自動化 +
データ分析

医療



次世代型医療関連ソリューション
AI + クラウド

金融



次世代金融システムソリューション

製造・ロボ



AIを活用した
IoT + データ分析

IT人材市場

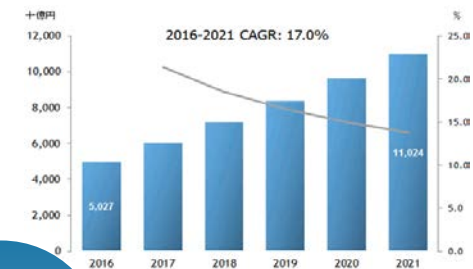
- ◆ 国内IT人材は2030年までに78.9万人不足（経済産業省）



- ◆ 国内大手Global IT企業 A社のオフショア率は3割（4,000名弱）と大幅に伸張
⇒AWSは戦略的オフショアに向け提携、更に3倍規模のリソース追加の依頼あり
- ◆ データサイエンティスト（AI）は国内だけで将来25万人不足（ガートナー社）
⇒AWSはすでに3年前にAI人材を教育
- ◆ 世界がフィリピンIT人材に注目
⇒AWSはフィリピンでトップノッチエンジニアを有し、バイリンガル人材を約800名抱える、唯一の国内向けIT企業

先端テクノロジー市場

- ◆ AI関連産業の市場規模は2030年に約87兆円を予測（EY総研）
- ◆ IoTの2016年度国内市場規模は5兆270億円。2021年には11兆円237億円。成長率は17%（IDC調査）



売上の拡大および高利益率の実現

◆ 3A*₁と戦略的ドメイン(自動車／金融／医療／製造・ロボティクス)を掛け合わせた売上拡大・高利益率の実現

顧客単価の増加

既存開発 + 3A







顧客の増加

同業種 + 異業種



アセット収益

保守 / LICENSE

				
Automation (自動化)				
Analytics (分析)				
A.I. (人工知能)				

※2

※1 Automation / Analytics / AI 当社が定義するターゲットとする戦略市場

※2 ロボティクス、公共、物流、地図情報等

ソフトウェアテスト自動化、車載機器、PC、FA 機器向けの検査工程の自動化等

予知保全・医療ビッグデータ分析、マーケティング分析、AIアシスタントによる公共サービスでの活用等

AWS
Holdings



AIS

レセプト点検ソフト
のリーディング
カンパニー

医療ビッグデータ分析の
リーディングカンパニー
5,000億市場へ



当事業におけるストック型ビジネスの強み

◆医療ビックデータ入手の**有利なポジション**

高い利益率を引き続き継続

◆メディカル事業にてこれまで達成してきた**ニッチ NO.1**事例

主力パッケージソフト
(マイティーチェッカー)

主力パッケージソフト
(マイティーキューブ)

売上
総利益率

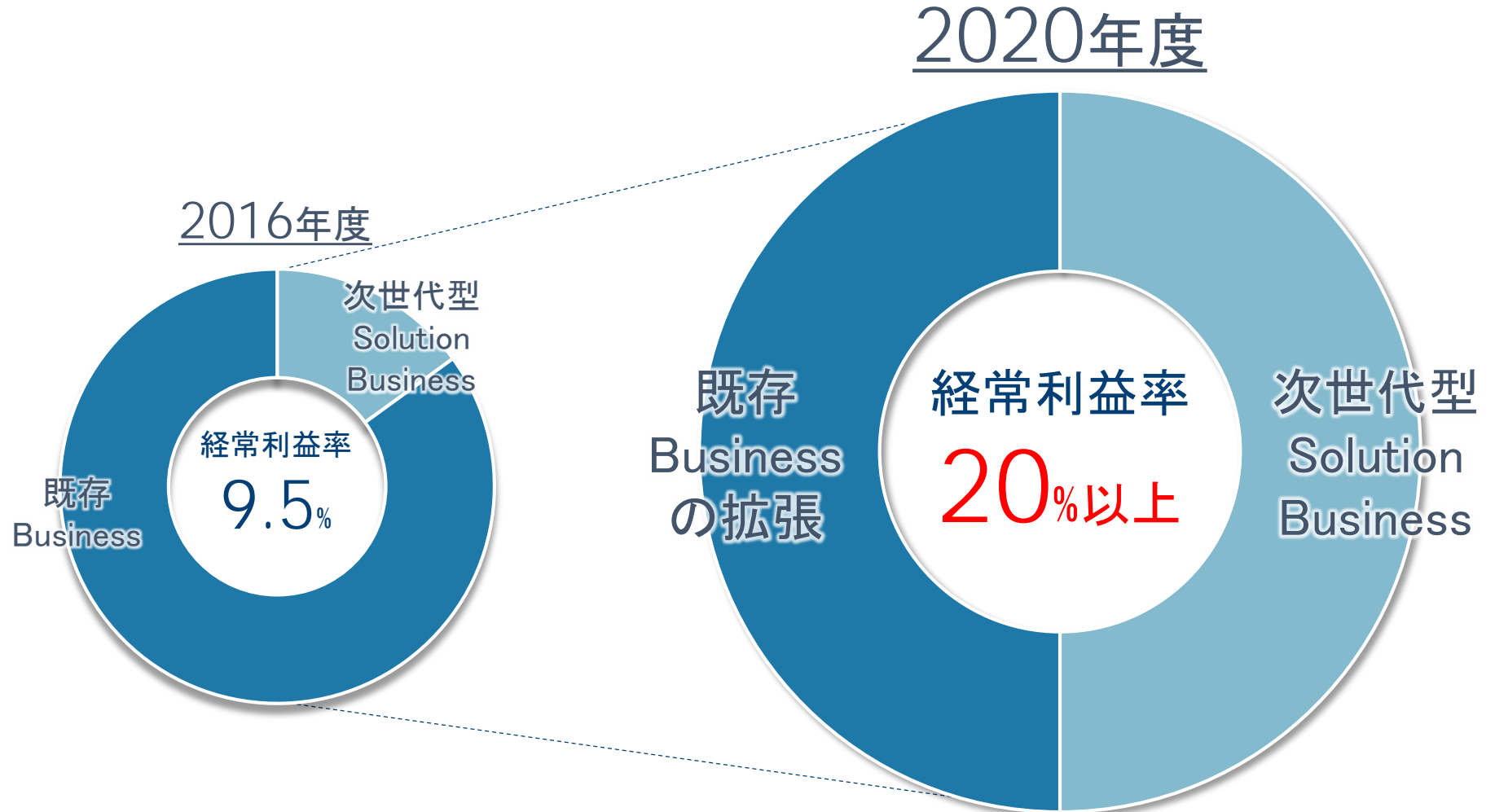
約**72%**
(2017年3月期)

売上
総利益率

約**65%**
(2017年3月期)



利益の半分を次世代型ソリューションにて創出



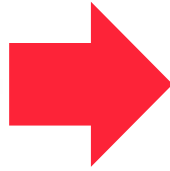
グループ事業成長戦略に関する進捗および今後のビジョン①



Capability

日本国内向けフィリピン
オフショアシェアNo.1

レセプト点検ソフト
領域において先駆



人工知能

A.I. Enabled
Computing
Services

分析

Big Data
Analytics

自動化

Process
Automation

既存事業

Existing
Services

Capacity
/ Time

2016年度

「技術」×「データ」を活かした独自アセットの開発

- ◆ テスト自動化ツールやAIを用いた音声AIプラットフォームを開発
- ◆ 医療データ分析エンジンの開発

2017年度

独自アセットの本格的横展開・マネタイズを開始

- ◆ 3A領域における開発受注 (PC/券売機)
- ◆ 医療分野におけるGroup技術力の活用 (AI/自動化)

2018年度

戦略的アライアンス

- ◆ 戦略的業務提携
- ◆ 資本提携

～ 2020年度 戦略Alliance推進

これまでの戦略(～2016年度)

「オフショア」×「R&D」

「IT」×「医療」



「自動化／データ分析」×「自動車」



「AI/分析/IoT」×「製造ロボティクス」



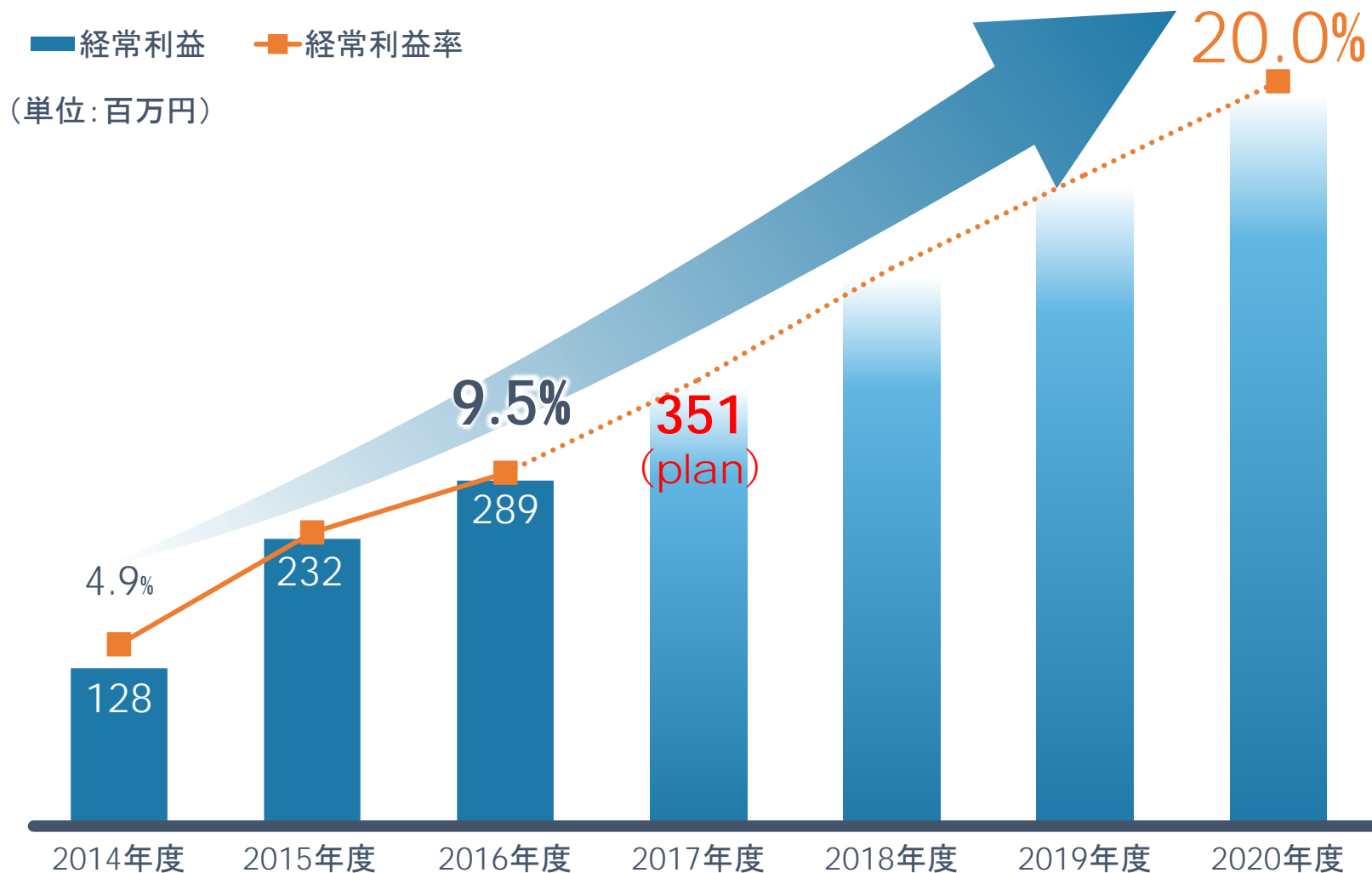
「モバイル&クラウド/AI」×「金融」



「AI/分析/IoT」×「医療」

⋮

事業提携やM&Aなどを視野に入れ、事業の拡大を図る



- ◆ 本発表において提供される資料ならびに情報は、当社による現時点における推定または見込みに基づいた将来展望についても言及しております。
- ◆ これら将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、為替変動といった国内および国際的な経済状況が含まれ、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- ◆ 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- ◆ 本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、将来展望に関するいかなる記載も更新し、修正を行う義務を負うものではありません。